(公財)鳥取県産業振興機構　平成２９年度実績報告

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td colspan="2">Ⅰ　県内企業の経営基盤の強化の支援</td></tr>
<tr><td colspan="2">Ａ　新たな販路の開拓や受注機会の拡大による取引量の増大を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１　県内企業の「自立型企業」への成長の推進</td></tr>
<tr><td>(1)自動車関連産業育成支援事業
県内企業の自動車産業への参入や商談の成立に向け、自動車関連企業やメーカーと研究会等を通じて、専門技術者や連携企業等との連携を支援する。
※政策目標
新規参入　１件
受注拡大　２件</td><td>【実績】
○販路開拓
（１）個別商談展示会関連
<table>
<tr><th>開催</th><th>名称</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>7/26</td><td>三菱自動車工業㈱向け個別展示会（神奈川）</td><td>内装デザイン向け個別展示会</td></tr>
<tr><td>12/20</td><td>トヨタテクノクラフト㈱向け個別展示会（愛知）</td><td>内装デザイン向け個別展示会</td></tr>
<tr><td>2/9</td><td>トヨタ車体㈱向け個別展示会（愛知）</td><td>開発部門への個別展示会</td></tr>
<tr><td>2/23</td><td>モデリスタ東京㈱向け個別展示会（東京）</td><td>個別新製品展示会</td></tr>
</table>
（２）上位企業訪問：延べ２７社を訪問（同行した県内企業６社）
<table>
<tr><th>上位企業名</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>トヨタテクノクラフト㈱</td><td>来県して企業訪問（２社）</td></tr>
<tr><td>㈱東海特装車</td><td>企業訪問による県内企業紹介（１社）</td></tr>
<tr><td>アスモ㈱</td><td>設備関連選定に県内企業を紹介（２社）</td></tr>
<tr><td>㈱オンド</td><td>購買部門へ県内企業紹介（１社）</td></tr>
<tr><td>マツダ㈱</td><td>引合い案件のフォロー（２社）</td></tr>
</table>
（３）新規参入・受注拡大
・新規参入　０件（商談継続中５件）
・受注拡大　０件（商談継続中２件）

○マネージャー、スタッフによる支援活動
・県内企業を年間延べ186社（前年度133社）訪問し、案件斡旋や情報提供を実施した。

【成果】
トヨタ系Tier0、Tier1の販路開拓は初めてだったが、自動車開発部門関係者の関心が高く一定の手応えがあり、試作ニーズや次モデル採用への足掛かりとなった。</td></tr>
<tr><td>(2)製品開発支援事業
製品開発支援及び製品の販路開拓を一元的に推進するため、県内企業の製品開発を伴走型で支援し、その成果である製品の販路開拓を支援する。</td><td>【実績】
○建築業から資材製造販売への変革支援
・コンクリートの漏水を止める止水工法の開発・事業化に対し、ハンズオンで支援中
○ゴルフスティックに代わる「ケン玉」の事業化を支援中
・競技用けん玉「レガシス」の開発を支援
・けん玉の生産体制構築を支援中
・通販事業の開始による収益アップを支援中
○仮設工事現場で使う吊チェーン長さ調整装置の生産販売事業の支援
・鳥取県新技術登録、国交省ＮＥＴＩＳ登録支援
・中国ニュービジネス大賞１次審査合格⇒プレゼン審査終了
・特許：的を絞り早期審査出願

【成果】
（１）新止水工法
・建築業から資材製造・事業化への変革
・資材販売および新工法の施工合わせて７，５００万円を達成
（２）けん玉事業
・新ブランド「レガシス」の独占生産開始
・通販事業は準備中
（３）吊チェーン長さ調整装置の生産販売事業
・特許２件、意匠登録、商標「キメチェン」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td></td><td>・国交省ＮＥＴＩＳ登録４カ月で完了
・事業化に向けて「株式会社 鳥取資材開発」設立⇒機構内に本社設置
・大手リース会社と独占販売契約推進中</td></tr>
<tr><td>(3)地域中核企業創出・支援事業
当該事業は、地域経済を活性化するため、地域を牽引している／できる「地域中核企業」を創出し、その成長を支援するもの。
支援人材（プロジェクトマネージャー、コーディネーター）の人脈や知見、各種支援施策・支援機関等の全国のリソースを活用しつつ、地域中核企業等が取り組む事業実施体制の整備、新技術・サービスの開発や活用、事業化戦略の策定や販路開拓等を支援する。</td><td>２９年度は２件（ビック・ツールとアサヒメッキ）採択した。
【実績】
①株式会社ビック・ツール
事業名：「月光ドリルの顕著な優位性を証明し、航空機分野への進出と販路開拓を図る」
マネージャー：畠中　豊氏（川崎重工航空宇宙システムカンパニー（ＫＨＩ社）ＯＢ）
コーディネーター：黒住昭夫氏（川重商事ＯＢ、元産国際ＢＣコーディネーター）
②株式会社アサヒメッキ
事業名：「自動車分野等において様々なメディア戦略を活かした、新たな価値観を見出すステンレス発色技術の販路開拓」
マネージャー：池田泰裕氏（株式会社アーテリー・プロデューサー）
コーディネーター：小川芳範氏（株式会社クレバ代表取締役）

【成果】
①ステンレス材料に対する月光ドリルの機能評価結果を取得し、その結果をＫＨＩ社及びボーイングに訴求。CFRP材料に対する穿孔評価を行い、その結果をＫＨＩ社及びボーイングに訴求。
ＫＨＩ社で月光ドリルを標準ツールとしての認定評価中。同様に、ボーイング社で認定ツールとしての評価中。（標準ツール認定の見込みが高い）
評価内容：ドリル耐久性試験、二次加工性能試験（山本金属製作所）
②自動車メーカーの内外装デザイナーに訴求するためのプロモーション動画作成し、トヨタ車体、トヨタモデリスタインターナショナルにおいて展示会開催し、併せプレゼンを行った。（供に引き合い案件あり）
公的機関で性能評価を行い、上記展示会及び各種専門展示会等で販路開拓に活用した。
評価内容：水素透過性（電気通信大学）、耐食性、耐薬品性（ベターリビング）、化学物質溶出性（日本食品分析センター）</td></tr>
<tr><td>(4)福祉車両部品研究会開催事業
鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクトの「福祉車両部品販路拡大事業」の委託事業として、県内企業の企業規模に適すると思わる福祉車両部品分野に関する研究会を行い、販路開拓に役立つ知見を得る機会を提供する。</td><td>【実績】
トヨタ車体㈱他から講師を招き、3回シリーズの福祉車両部品研究会を実施した。
<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th><th>企業数</th></tr>
<tr><td>第1回：11/29開催
「福祉車両分野に関する講演」</td><td>福祉車両業界の市場動向と商流及びサプライヤーに求められるＱＣＤについて、トヨタ車体㈱の有識者による講演を実施</td><td>12社</td></tr>
<tr><td>第2回＜1日目＞：12/1開催
「福祉車両部品の分解と解説」</td><td>福祉車両用シートユニット分解によるベンチマークと参加企業による部品の持ち返りによる解析によるレポートを実施</td><td>11社</td></tr>
<tr><td>第2回＜2日目＞：12/4開催
「県内企業視察及び意見交換会」</td><td>特装・福祉車両部品開発の有識者による県内企業の現場視察と意見交換会を実施</td><td>3社</td></tr>
<tr><td>第3回：1/30開催
「福祉車両展示場及びTier1訪問」</td><td>福祉車両展示販売場「ハートフルプラザ名古屋」と福祉機器及び車両組立メーカー「エース産業㈱」を視察、意見交換を実施</td><td>3社</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等

２　県内企業の受注促進・販路開拓の支援

(1)受発注情報等収集提供事業
県内に企業取引コーディネーター（以下、ＣＤという）を２名配置し、県内企業の販路支援や県外発注情報を県内企業に紹介し、県内中小企業の受注機会の拡大に繋げる。
発注開拓担当ＣＤを東京、大阪、名古屋に配置。県外の発注企業を訪問し、情報収集に努めるとともに、県内の企業取引ＣＤと連携しビジネスマッチングを行う。
企業間の垂直連携によるユニット品等高付加価値製品の受注獲得や、水平連携による大量受注の獲得及び失注の低減等につなげる。

【実績】
○支援状況

区分(ｶｯｺ内は人数)	企業訪問件数等	企業訪問件数等 (昨年同期)
発注開拓ＣＤ(3)	429件	557件
企業取引ＣＤ(2)	1,601件	1,512件
合計	2,030件	2,069件
あっ旋（見積り）件数	597件	587件
成約件数	191件	152件
成約率	32.0%	25.9%
取引成立金額	432,988千円 (成立当初受注額)	161,459千円 (成立当初受注額)

○新規発注企業の開拓状況

地域	訪問件数	新規発注案件の実績			
		◎	○	△	×
大阪	45 件	1	18	18	8
名古屋	10 件	0	4	6	3
東京	53 件	12	17	20	4
合計	108 件	13	39	44	12

◎…案件をいただけた。
○…継続訪問すれば案件出てきそう。
△…普通の感触。１度だけではわからないので、継続して様子をみる。
×…案件出てくる可能性は低い。

【成果】
○年商１億円を超える大型案件の受注が３件成約できた。

(2)専門展示会出展支援事業
県内企業の製品・技術を広くアピールし、新規取引先の開拓や販路の拡大を支援するため、東京、大阪、名古屋等大都市圏で開催される集客能力の高い専門展示会に鳥取県ブースを設置する。
また、専門展示会へ自社で出展する費用を助成する。

【実績】
○専門展示会（国内）出展状況

期日	名称	企業数	商談件数	成立件数	成立金額
5/23～5/26	NEW環境展2017	4社	81件	2 件	300千円
6/21～6/23	機械要素技術展	6社	62件	2 件	550千円
11/8～11/11	メッセナゴヤ	4社	46件	2 件	30千円
2/14-16	スーパーマーケット・トレードショー2018	14社	320件	73件	3,845千円
3/6～3/9	建築・建材展2018	3社	42件	1 件	980千円
3/6～3/9	FOODEX2018	7社	213件	18 件	200千円

○専門展示会出展助成事業（個別出展支援）　11社（H28年度：9社）

【成果】
○「FOODEX2018」の「美食女子グランプリ」で県内出展企業のうち、金賞1社（ブライアンテック）、銀賞1社（ブリリアントアソシエイツ）が受賞

事業名・内容	事業の実績等
(3)商談会等開催事業 ・県内中小企業の販路開拓を支援するため各種商談会を開催する。	【実績】 ○ものづくり関係（提案型）

開催	名称	参加者数 (単位:社)	商談件数・折衝状況
7/26	三菱自動車工業向け個別展示会（神奈川）	発注：1社 受注：1社	進展なし
12/20	トヨタテクノクラフト向け個別展示会（愛知）	発注：1社 受注：1社	内装用ブランドマーク試作を検討中
2/9	トヨタ車体向け個別展示会（愛知）	発注：1社 受注：1社	内装インパネ加色試作を検討中
2/23	モデリスタ東京向け個別展示会（東京）	発注：1社 受注：1社	卓上用ブランドアイテム試作を検討中

○ものづくり関係（受発注）

開催	名称	参加者数 (単位:社)	商談件数・折衝状況
9/28	モノづくり受発注商談会（大阪）	発注：95社 受注：16社	商談件数39件、成立5件、 継続折衝案件16件
11/28	鳥取県企業発掘商談会（鳥取）	発注：11社 受注：36社	商談件数100件、成立4件、 継続折衝案件30件
1/17 -18	中国ブロック合同広域商談会（岡山）	発注：72社 受注：20社	商談件数92件、成立1件、 継続折衝案件56件
2/15 -16	近畿・四国合同広域商談会（京都）	発注：150社 受注：18社	商談件数77件、成立1件、 継続折衝案件53件。

○食品関係(商談会)

期日	名　称	バイヤー	セラー	商談件数	成立件数
7/6-7	よしや個別現地商談会	1社	10社	10件	8件
7/19-20	農商工連携・6次産業化首都圏小売業食品商談会 in 鳥取	1社	13社	13件	11件
7/21	天満屋　食品商談会（米子）	5社	26社	61件	8件
9/12	農商工連携・6次産業化食品商談会 in 米子	6社	23社	54件	8件
10/21	農商工連携・6次産業化食品商談会 in 倉吉	6社	23社	78件	32件
10/24 -26	ルクサ個別現地商談会	1社	14社	14件	14件

○食品関係（展示会及び展示商談会）

期日	名称・場所	出展企業	商談件数	成立件数
1/25-26	フーデム	10社	―	16件

事業名・内容	事業の実績等

3　県内企業の海外展開の支援

(1)とっとり国際ビジネスセンター運営事業

・県内企業からの海外展開に関する各種相談に対応するためのスタッフ（CD、専門相談員、外国語スタッフ（韓国、ロシア、中国）を配置する。

・ものづくりCDを東部駐在とし、専門相談員１名とあわせて東部の相談窓口機能を強化

【実績】

○専門相談員による企業支援件数：256 件

・海外展開戦略の相談対応事例

ﾌﾞﾘﾘｱﾝﾄｱｿｼｴｲﾂ㈱（台湾）、㈱ビックツール(アメリカ他)

㈱ニシウラ（台湾）、谷口・青谷和紙㈱(中国)

○外国語スタッフ支援件数：1,252 件

区分		件数等	内訳		
			翻訳	通訳	相談
支援件数	韓国語通訳等	855	516	335	4
	ロシア語通訳等	111	88	18	5
	中国語通訳等	286	216	59	11
	計	1,252	820	412	20

※通訳、翻訳業務、相談対応や展示会等の企画立案にも参画

※ロシア語スタッフ：育休（H29.5.15まで）

・韓国語スタッフ：大山乳業農業協同組合、㈲山本精機

・ロシア語スタッフ：三光㈱

・中国語スタッフ：㈱ヘイセイ、ウィードメディカル㈱

(2)海外展開支援事業

・県内企業の出展意欲が高い地域の海外見本市、商談会に出展し、海外販路の開拓を行う。

・ものづくり系企業の海外販路拡大を支援するため、医療分野及び自動車分野への参入を中心として販路開拓を実施する。

・県内企業が行う海外販路開拓活動にアドバイザーを同行させ海外展開を支援する。

・県内企業が独自に行う海外展開活動に要する経費の一部を助成し、企業の海外展開支援を行う。

【実績】

○海外展示会商談会支援の状況：20 社

開催日	商談会名	分野	企業数
9/14-9/15	江原医療機器展示会(GMES) (韓国江原道原州市)	ものづくり	3
11/22-11/25	メタレックス (タイバンコク)	ものづくり	2
11/8-11/10	中国自動車部品メーカーとの意見交換会 (中国広東省広州市)	ものづくり	6

※県主催事業協力分

開催日	商談会名	分野	企業数
9/1-9/5	北東アジア博覧会国際商品展 (中国吉林省長春市)	総合	4
9/21-9/24	ＧＴＩ国際貿易・投資博覧会 (韓国江原道東海市)	総合	5

○海外販路開拓活動同行支援事業件数：18 件

㈱ヘイセイ、ブリリアントアソシエイツ㈱、谷口・青谷和紙㈱、澤井珈琲㈱、米子製鋼㈱、㈱ビックツールなど

○外部専門家派遣事業

採択件数の状況：6 件

企業名	人材派遣機関	支援内容
㈱ウッドプラスチックテクノロジー	経営支援ＮＰＯｸﾗﾌﾞ	販売戦略支援
ブリリアントアソシエイツ㈱	国際社会貢献センター	販路開拓支援、社内体制整備
㈱アグリネット琴浦	国際社会貢献センター	販売戦略、販路開拓支援
㈲タイヤセンターナガミ	国際社会貢献センター	販売戦略、販路開拓支援
㈱ウィードメディカル	国際社会貢献センター	販売戦略、販路開拓支援
㈱大谷酒造	国際社会貢献センター	取下げ

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td></td><td>
○海外展開活動支援事業補助金の状況：12 件
<table>
<tr><th>申請者</th><th>事業内容</th><th>金額(千円)</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>㈱バルコス</td><td>フランス・パリ展示会出展</td><td>2,578</td><td>優良案件</td></tr>
<tr><td>㈱ビックツール</td><td>アメリカ等個別商談</td><td>1,849</td><td>優良案件</td></tr>
<tr><td>大村塗料㈱</td><td>中国展示会出展</td><td>664</td><td></td></tr>
<tr><td>ティージャパン㈱</td><td>中国展示会出展・個別商談</td><td>108</td><td></td></tr>
<tr><td>イナバゴム㈱</td><td>タイ展示会出展</td><td>718</td><td></td></tr>
<tr><td>㈱chromocenter</td><td>アメリカ展示会</td><td>935</td><td></td></tr>
<tr><td>㈱ウィードメディカル</td><td>中国展示会出展</td><td>170</td><td></td></tr>
<tr><td>リバードコーポレーション㈱</td><td>アメリカ個別商談</td><td>450</td><td></td></tr>
<tr><td>鳥取電子㈱</td><td>ミャンマー個別商談</td><td>220</td><td></td></tr>
<tr><td>㈱レクサーリサーチ</td><td>ﾄﾞｲﾂ展示会出展、個別商談</td><td>670</td><td></td></tr>
<tr><td>㈱ｳｯﾄﾞﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾃｸﾉﾛｼﾞｰ</td><td>ボードの新規販路開拓</td><td>0</td><td>取下げ</td></tr>
<tr><td>㈱エッグ</td><td>自社システムの販路開拓</td><td>0</td><td>取下げ</td></tr>
<tr><td>計（採択）</td><td>12件</td><td>8,362</td><td></td></tr>
</table>
【成果】
○新規取引件数　12 件
・GMES：㈱ケイケイ（歯科用器試作金型）、㈲山本精機（衛生機器部品）、高石工業（医療機器部品）
・広州：㈱日星クリエイト（金属加工部品２件）、ｵﾑﾛﾝｽｲｯﾁｱﾝﾄﾞﾃﾞﾊﾞｲｽ㈱(基本スイッチ)
・同行支援、外部専門家：ﾌﾞﾘﾘｱﾝﾄｱｿｼｴｲﾂ㈱（ﾋﾟﾝｸｶﾚｰ：台湾）
・外部専門家：㈱アグリネット琴浦（梨ｼﾞｭｰｽ等：香港）、㈲タイヤセンターナガミ（中古ﾀｲﾔ：ﾍﾞﾄﾅﾑ）、㈱ｳｯﾄﾞﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾃｸﾉﾛｼﾞｰ（ボード：台湾）
・補助金：㈱chromocenter（染色体解析受託ｻｰﾋﾞｽ：ｱﾒﾘｶ）、バルコス（ﾊﾞｯｸﾞ：ﾌﾗﾝｽ）

○新規に取組む企業を含め、販路の拡大や新たな商談開拓など企業の積極的な海外展開に貢献した。
・ﾌﾞﾘﾘｱﾝﾄｱｿｼｴｲﾂ㈱：台湾向けに成約があり、総代理店契約に向け大きく前進。
・㈲ﾀｲﾔｾﾝﾀｰﾅｶﾞﾐ：外部専門家の支援を受け海外展開を開始し、初成約となった。
・㈱ビックツール：航空機分野・医療用機器分野で大手メーカーとの商談に持ち込めた。
</td></tr>
<tr><td>(3)「食のみやこ」鳥取県輸出促進活動支援事業
食品系企業の海外展開活動を支援するため、市場として有望と考えられる華南地域（台湾、マカオ等）において物産展等を開催し、水産物を中心とした加工食品や日本酒等の販路開拓を図る。</td><td>
【実績】
○有力バイヤー招聘による県内企業視察及び商談参加企業の状況：26 社
<table>
<tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>企業数</th></tr>
<tr><td>8/22 - 24</td><td>香港バイヤー招聘（1 社）</td><td>9 社</td></tr>
<tr><td>2/26-3/1</td><td>台湾バイヤー招聘（1 社）</td><td>8 社</td></tr>
<tr><td>3/25-29</td><td>台湾バイヤー招聘（3 社）</td><td>9 社</td></tr>
</table>
【成果】
○新規成約数　３件　　成約見込数　８件
・香港バイヤーは、少量多品種・不定期供給でも県内企業でも対応可能であり、小規模事業者でも取り組みやすく、成約に繋がった。
・台湾バイヤーも小規模生産者の商品に特に評価が高く、今後の成約が期待される。また、県内企業も台湾向け輸出に好印象を持つことができ、今後の輸出への意欲喚起となった。
</td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等
Ｂ　県内企業の経営改善を支援する。	
１　相談窓口の設置及び専門家の派遣	

(1)専門家派遣事業
中小企業者の依頼により「ＩＳＯ取得」「技術相談」「ＩＴ化の推進」「ビジネスプランの作成」「情報セキュリティ対応」など各分野の専門家（経営革新アドバイザー）を派遣する。
専門的知識を持ち業界動向に精通した専門家の協力を得ながら、企業カルテを活用した支援企業に最適な個別の戦略と支援方法を検討し、経営者と共に考え、共に動くような支援（ハンズオン支援）を実施。

【実績】
○専門家派遣件数（実施ベース）

項目名	件数	主な内容
経営全般	11件	事業計画立案～実践、幹部育成、人事/労務管理
技術	5件	生産性向上、品質向上、ﾘｰﾄﾞﾀｲﾑ短縮、3DCAD修得
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ	2件	新商品のｺﾝｾﾌﾟﾄﾒｲｸ、ﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ
IT	4件	HP作成支援、既存HPﾘﾆｭｰｱﾙ、情報活用
ISO	7件	ISO認証取得支援
その他	7件	人材育成、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力向上、工場管理
合計	36件	

年間目標達成率（件数ベース）：１０６％（計画３４件）
※その他、中小企業庁のミラサポ専門家派遣にて対応（２０件）

【成果】
・派遣利用企業へのアンケートで、回答企業の全てから専門家のアドバイスが参考になり、各々、組織活性化、売上増加、経費削減、製品力向上などの効果があったとの回答を得た。
○「企業カルテ」実施企業数：　４社（計画３０社）　支援の質向上に注力した結果４社
内１社は支援迄は進展していない。
○「ハンズオン支援」企業数：２０社（計画７社）　計画285.7%　但、支援終了４社
○「専門家引継支援」企業数：７社（計画なし）
内訳
平成２９年度末支援企業数：２７社
（本年新規支援３社　支援継続１５社　機構以外《ミラサポ等》５社　終了４社）

【成果】
・派遣利用企業へのアンケートで、回答企業の９割以上から専門家のアドバイスが参考になり、売り上げ増加や経費削減、組織活性化などの効果があったとの回答を得た。

事業名・内容	事業の実績等

(2)再生支援協議会事業
厳しい経済情勢の中で、大小の経営課題を抱えている中小企業に対し、経営相談から再生計画策定支援及び再生計画策定完了後のフォローを行うなど、きめ細かく様々な支援を行う。
目標
再生計画策定完了数：２０件
抜本再生計画策定数：　５件
経営者保証GL 支援数：　４件

【実績】
○窓口相談（１次対応）実績

前年度繰越	本年度発生	小計	対応中	2次対応移行	終了
１	１６	１７	４	１０	３

＊終了:各種アドバイスの実施や関係支援機関への紹介で終わった案件

窓口相談（1次）持込状況（本年度発生分）

山陰合銀	鳥取銀行	島根銀行	米子信金	保証協会	政府系	直接
８	０．５	０．５	１	１	１	４

○再生計画策定（2次対応）

	前年度	新規	小計	2次移行	終了	策定完了	対応中
1.5次	１	１	２	１	１	０	０
2次	５	１３	１８	０	０	１１	７
内抜本再生	３	５	８	－	－	４	４

＊終了：計画が策定できなかった案件や、計画に対し債権者同意が得られなかった案件
＊1.5次：2次対応への見極め段階

○担当者１人当り処理件数実績

	鳥取県	中国平均	全国平均
１次対応数	６．６７	７．１５	７．７５
再生計画策定数	４．５８	４．２５	４．８
経営者保証GL	２．０８	０．８１	０．９２

○再生計画策定企業に係る雇用の確保（６７４人）１１社合計
（業種別内訳）

業種	先数	雇用確保数	所在
製造業	４	２１７	東部・西部
旅館業	３	１８８	東部・中部
卸・小売業	２	７５	東部・中部
飲食業	１	４３	東部
運送業	１	１５１	東部
合計	１１	６７４	

○経営者保証ガイドライン支援対応数
一体型　８件(完了５件、仕掛中２件、終了１件)、　単独型　０件

【成果】
・再生計画策定完了数：１１件／２０件（仕掛中７件）
・抜本計画策定完了数：４件／５件
・経営者保証ガイドライン支援完了数：一体型５件/３件、単独型０件/１件
・再生計画策定完了後のフォローについては対象先全てについて実施し、適宜の指導や計画修正の検討も行いながら２次破綻防止に努めた。

・再生計画策定数（２次完了）の増加に向け、金融機関からの案件持込み活動や他の支援機関からの案件引継について諸施策を実行。結果として再生計画策定完了数は目標比大幅未達となったが予定分を含め次年度案件の確保に繋げることが出来た。
・昨年度からの傾向として難易度の高い案件が増加。協議会が主体性を更に発揮し案件の処理スピードを向上させることも今後の課題。

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td>(3)経営改善計画策定支援事業
「経営改善支援センター」を設置し、中小企業や小規模事業者が経営改善計画策定支援費用として認定支援機関に支払う費用の一部を負担する。
利用申請決定数：５０件</td><td>【実績】
従来型
<table>
<tr><td>問合せ・相談数</td><td>１８１</td></tr>
<tr><td>利用申請決定数</td><td>３０</td></tr>
<tr><td>支払申請数</td><td>３７</td></tr>
</table>
○利用申請決定数
<table>
<tr><td></td><td>鳥取県</td><td>中国平均</td><td>全国平均</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>３０</td><td>３０．５</td><td>４２</td></tr>
</table>
早期型
<table>
<tr><td>問合せ・相談数</td><td>１１９</td></tr>
<tr><td>利用申請決定数</td><td>１２</td></tr>
<tr><td>支払申請数</td><td>５</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td></td><td>鳥取県</td><td>中国平均</td><td>全国平均</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>１２</td><td>６３．５</td><td>１２６．９</td></tr>
</table>
【成果】
・従来型：利用申請決定数：３０件／３６件
＊中小企業数に対する利用申請決定比率　0.18%は、全国第２位
・早期型：利用申請決定数：１２件／１０件

・従来型は、主要な認定支援機関（連合会、協会、税理士、コンサル）との連携により案件相談を受けやすい体制を確立しているが利用申請決定数は伸びを欠いた。
・早期型（H29 年度からの新規事業）は、ＴＫＣ税理士会メンバーへのＰＲにより推進を行ったが、中国４県平均実績比で見劣りしており利用促進が課題。</td></tr>
<tr><td>(4)事業引継ぎ支援事業
後継者問題を抱える中小企業や小規模事業者の事業引継ぎや事業承継の促進・円滑化を図るため、課題解決に向けた助言、情報提供及びマッチング支援等を実施する。</td><td>【実績】
○とっとり企業支援ネットワーク連携機関である、金融機関等連携支援機関に向けた「事業承継セミナー」を２９回開催
（日本政策金融公庫２回、商工組合中央金庫１回、山陰合同銀行４回、島根銀行１回、鳥取県信用保証協会１回、鳥取銀行４回、米子信用金庫１回、鳥取信用金庫１回、鳥取・米子・境港商工会議所４回、各商工会連合会５回、税理士会４回、行政書士会１回）
○単年度マッチング実績１７件（設立以来の累計２７件）目標達成率１００％
○後継者人材バンク立ち上げ（２９年２月）２９年度新規登録２件
【成果】
・新規相談事業者受付先数９１先
内、当センターへの直接相談４２先、金融機関からの情報入手４４先、その他５先となっており、今後も周知・広報の活動が必要であると考えている。
・相談回数　２６４回
・後継者人材バンクに係る「新規登録」について、周知不足。</td></tr>
<tr><td colspan="2">２　設備貸与事業等</td></tr>
<tr><td>(1)中小企業ハイテク設備貸与事業
(2)設備貸与事業
(3)創造的中小企業育成支援事業</td><td>【実績】
○債権回収等の状況
(平成19年度から新規貸付を停止。現在は債権の管理回収のみ)
<table>
<tr><th>区分</th><th>中小企業ハイテク設備貸与事業</th><th>設備貸与事業</th></tr>
<tr><td>正常先</td><td>0社</td><td>0社</td></tr>
<tr><td>未収先</td><td>1社</td><td>6社</td></tr>
<tr><td>破綻先</td><td>4社</td><td>4社</td></tr>
</table>
○破綻先、未収先からの回収状況
<table>
<tr><th>事　業　名</th><th>金額（千円）</th></tr>
<tr><td>中小企業ハイテク設備貸与事業</td><td>0</td></tr>
<tr><td>設備貸与事業</td><td>2,256</td></tr>
<tr><td>創造的中小企業育成支援事業</td><td>462</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>2,718</td></tr>
</table>
※現在は上記債権及び償却済債権の求償権の管理・回収のみ
【成果】
・平成26年に全ての設備を償却し、現在は債権及び償却済債権の求償権管理・回収のみ。
設備貸与事業未収先企業が１社完済となった。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td colspan="2">Ⅱ　県内企業の技術及び経営の革新による新事業・新分野への進出を支援</td></tr>
<tr><td colspan="2">Ａ　企業の創出及び育成を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１　起業創業チャレンジ事業による新たな企業の創出・育成</td></tr>
<tr><td>起業創業チャレンジ総合支援事業
　新たな技術や経営ノウハウ等をもった革新的な中小企業等を創出・育成し、その活動を後押しすることで、県経済の活性化と雇用に資する。</td><td>【実績】
○起業創業チャレンジ補助金
（新規採択：５件）
<table>
<tr><th>事業者名</th><th>事業名</th></tr>
<tr><td>㈱ＢＢ３</td><td>地域密着型野球トレーニング施設の情報プラットフォーム化による鳥取県野球コミュニティの活性化</td></tr>
<tr><td>㈱ＰＡＣＴ</td><td>ペット用医薬品開発に向けたイヌ化抗体の作製</td></tr>
<tr><td>(同)フット</td><td>人口知能（ＡＩ）を活用した「ホームページ改善アドバイス・販売促進支援」サービスの受託開発と提供</td></tr>
<tr><td>㈱ＡＫＡＲＩ　ＢＲＥＷＩＮＧ</td><td>小規模醸造所の強みと地元特産品を利用した多種多様なクラフトビールの製造・販売</td></tr>
<tr><td>いなばテクノ・エボリューション㈱</td><td>自治体と店舗とのシェアにより、Ｊアラート連携の防災用電子看板の普及を図り、住民の安全安心に寄与する事業</td></tr>
</table>
（申請・採択状況等）
・第１回審査会 7/31　　申請件数：４件　採択件数３件
・第２回審査会 11/13　　申請件数：２件　採択件数２件
○起業相談会の開催
<table>
<tr><th>件数</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>３６回開催</td><td rowspan="2">起業相談会を開催し、創業者・創業希望者等による相談に対応
開催場所：鳥取県立図書館
倉吉市立図書館
米子市立図書館
連携団体等：（一社）鳥取県中小企業診断士協会
日本政策金融公庫（鳥取支店、米子支店）</td></tr>
<tr><td>相談３０件</td></tr>
</table>
○専門家派遣
２件（延べ１７回派遣）　法人設立・事業開始の支援（医療・福祉分野）

【成果】
・起業創業チャレンジ補助金採択企業　起業による雇用の創出20名</td></tr>
<tr><td colspan="2">Ｂ　成長産業分野の産業集積を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１　医療・福祉機器関連産業の育成</td></tr>
<tr><td>(1)医工連携推進事業
　県内中小企業の医療機器関連分野への参入を支援するために、医工連携コーディネーターを配置し、「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」の運営を通して、同分野による産業振興を図る。</td><td>【実績】
○県内医療機関のニーズ分析・成果報告会の開催
鳥取大学医学部附属病院にて収集されたニーズ 120 件について、岡山市内の医療機器販売業「カワニシHD㈱」の協力を得て分析。3/27 に県内企業の参入事例等の成果報告と併せて、研究会会員企業に対して報告会を開催し、県内企業等約 30 名が参加。今後、同病院と連携し、具現化に向けて支援を進める。
○専門展示会への出展支援
・国際福祉機器展 H.C.R. 2017（9/27～29）：４社（㈱ニシウラ、㈱A&M、ブライアンテック(有)、ウィードメディカル㈱）が出展。来社：301 社、有効商談件数：77 件）
・医療機器開発製造展（2/21～23）：４社（イナバゴム㈱、㈱A&M、協同電子㈱、㈱エッグ、ウエニ工業㈱、中山精工㈱）が出展。来社：328 社、有効商談件数：154 件）
○鳥取県医療機器展示商談会 in 本郷（9/21）
・参加企業 18 社、鳥大附属病院、産技C
・商談件数：42件（本郷製販企業16社）
・商談は、事前調整の案件のみならず、当日の来場者とも活発に行われた。この商談会をきっかけに、数件が調査・開発に進展。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td></td><td>○医療機器開発補助金
・H27 年度に採択された５社（うち１社は事業中止）について、医療・福祉関連機器の開発、医療機器製造業取得、ISO13485 認証取得等に関する資金支援を行った。（旭東電気㈱、㈲山本精機、イナバゴム㈱、㈱テムザック、㈱スター電機）
医療機器製造販売業２社、同製造業各３社、ISO13485 を２社が取得。２社が機器開発を行い、うち１社は医療機器製造業登録を進めている。
・H29 年度は、６社申請、３社採択。いずれも機器開発案件。

【成果】
・医療機器製造業、同製造販売業の許可取得企業：２社（累計９社１３件）
・ISO13485取得企業：０社（累計５社）
・新たな医療分野参入企業：３社（累計１７社）
・その他医療現場ニーズに基づいた製品開発：７件（累計２４件）
・とっとり医療機器関連産業戦略研究会：６６社
・本郷展示商談会出展：延べ３２社／３回（うち８社は全会出展）
・本郷商談件数：１０６件／３回（本郷製販企業：３２社）</td></tr>
<tr><td colspan="2">２　リサイクル産業等環境分野の集積の支援</td></tr>
<tr><td>(1)リサイクル産業事業化促進事業
リサイクル技術・製品化技術の向上及び販路の拡大を図るとともに、新たにリサイクル分野に取り組む企業を創出する。</td><td>○リサイクル産業事業化促進の状況
<table>
<tr><th>項目</th><th>実績内容</th></tr>
<tr><td>シーズ探索及び情報提供</td><td>・ジオポリマー法（砕石、二次製品、鉄道枕木）
・バイオマス等をバイオコークスにリサイクル
・リン回収技術　　（１６件）</td></tr>
<tr><td>検討会・研究会の運営等</td><td>・検討会、研究会の開催（７３回）
・専門家派遣（５回）</td></tr>
<tr><td>補助金等についての助言</td><td>・助言、申請支援等（１３件）</td></tr>
<tr><td>知的所有権取得への支援</td><td>・特許及び商標出願、先行技術調査、秘密保持等（１２件）</td></tr>
<tr><td>販路情報の提供</td><td>・環境展、びわ湖ビジネスメッセ　出展支援
・バイオマス資源（もみ殻、竹）販路情報の提供（１２件）</td></tr>
</table>
○事業化の主な実績
<table>
<tr><th>企業名等</th><th>実績内容</th></tr>
<tr><td>北溟産業</td><td>竹粉を原料とする土壌改良剤</td></tr>
<tr><td>松本建設</td><td>竹炭利用による床下調湿材及び化粧品（石鹸、シャンプーなど）</td></tr>
<tr><td>伯耆のきのこ</td><td>廃棄されるキクラゲから化粧品（化粧水）</td></tr>
</table>
【成果】
・新たにリサイクルビジネスに取組む企業件数　１２社</td></tr>
<tr><td colspan="2">C　県内の経営資源を利用した新商品等の開発や事業化を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１　研究開発への助成</td></tr>
<tr><td>(1)次世代・地域資源産業育成事業
大学等の研究シーズや共同研究成果、農林水産物等・産地技術・観光資源等県内の地域資源を活用した製品・技術の実用化に向けた研究開発、販路開拓を行う中小企業者等への取組みに対し、基金運用益から助成する。</td><td>【実績】
○H29年度事業実施状況等
<table>
<tr><th>事業区分</th><th>実施件数</th><th>確定金額(千円)</th></tr>
<tr><td>次世代産業育成事業</td><td>１０</td><td>６７，００２</td></tr>
<tr><td>地域資源活用事業</td><td>１３</td><td>３４，１９５</td></tr>
<tr><td>「打って出る」とっとり応援事業</td><td>０</td><td>０</td></tr>
</table>
【成果】
○本年度が事業最終年度であり、H30 年３月末までに事業活用 23 社すべての事業者への助成金支払を完了させた。
○事業の集大成として「次世代・地域資源活用事例集」を作成した。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td colspan="2">２　農林漁業者と県内企業との連携等の促進</td></tr>
<tr><td>(1)農商工連携促進事業
農林漁業者と中小企業者が連携し、県産の農林水産物を使い「食のみやこ鳥取県」にふさわしい新商品・新サービスの開発、販路開拓等の取組みに対し、基金運用益から助成する。</td><td>【実績】
○採択状況等
<table><tr><th>事業区分</th><th>申請件数</th><th>採択件数</th><th>交付決定額（千円）</th></tr><tr><td>農商工連携事業</td><td>16</td><td>13</td><td>67,860</td></tr><tr><td>農商工連携支援事業</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>※第５回審査会で採択された事業については、交付決定額に未計上

（内訳）申請・採択状況等
・第１回審査会 7/28　　申請件数：2件、採択件数：1件
・第２回審査会 9/19　　申請件数：3件、採択件数：3件
・第３回審査会 11/30　　申請件数：8件、採択件数：7件
・第４回審査会 2/6　　申請件数：1件、採択件数：1件
・第５回審査会 3/15　　申請件数：2件、採択件数：1件

○自主事業（公募によらない事業：機構が独自に実施する農商工連携支援事業）
・専門家派遣の実施９回（採択３件）
・商談会の開催による販路開拓支援６回（商談会実績については商談会開催事業参照）
・専門展示会（スーパーマーケット・トレードショー2018）への出展支援（１４社）
※商談結果等は(3)商談会等開催事業の項目を参照。
・ブラッシュアップセミナー：４回シリーズ「販路を開拓する企画力&営業力養成講座」

開催（参加１２社）
<table><tr><th>開催</th><th>セミナー内容</th><th>講師</th></tr><tr><td>第1回　7/12</td><td>商品コンセプトつくりとターゲット絞込み</td><td rowspan="4">一般社団法人
新日本ｽｰﾊﾟｰﾏｰｹｯﾄ協会
飯塚氏・泉川氏</td></tr><tr><td>第2回　8/24</td><td>自社製品のコンセプト作成とオリエンシート作成</td></tr><tr><td>第3回　9/22</td><td>企画提案書作成</td></tr><tr><td>第4回　11/15</td><td>実際の商品プレゼン</td></tr></table>
【成果】

○平成28年度にセミナーを受講した田端商店が「フード・アクションニッポンアワード2017（農林水産省主催）」を県内企業として初受賞（梨フルーツらっきょうディップ）</td></tr>
<tr><td>(2)農商工連携研究開発支援事業
農林漁業者と中小企業者等が手を組んで行う農商工連携の事業化を図るうえで、研究開発に必要な基礎的調査、情報収集、開発検討の取組みに対し、基金運用益から助成する。</td><td>【実績】
○申請件数：2件　　採択案件：1件</td></tr>
<tr><td>(3)地域資源活用・農商工連携促進事業
中小企業者と農林漁業者のマッチングによる農商工連携の促進及び、開発された商品等の販路開拓など、入口出口戦略の強化を支援する。</td><td>【実績】
○マッチング担当
<table><tr><th>区分</th><th>件数</th></tr><tr><td>相談対応件数</td><td>483 件</td></tr><tr><td>マッチングの候補となる事業者の紹介件数</td><td>66 件</td></tr><tr><td>マッチング成立及び新規案件発掘等の件数</td><td>21 件</td></tr></table>○販路開拓担当
<table><tr><th>区分</th><th>件数</th></tr><tr><td>相談対応件数</td><td>307 件</td></tr><tr><td>企業訪問による販路開拓件数</td><td>294 件</td></tr><tr><td>商談会開催による商談成立件数</td><td>79 件</td></tr></table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td></td><td>【成果】
〇マッチング担当
・コーディネーターによる案件発掘活動と専門家派遣等を活用したブラッシュアップの支援を行った結果、Ｈ２９年度は１７件が農商工連携促進事業審査会まで進み、１３件が採択された。
〇販路開拓担当
・県、支援機関と連携して、農商工事業者を始めとする県内食品事業者に適した新規バイヤーを発掘、機構とバイヤーとの繋がりを強化できた。
・農商工商品等ブラッシュアップを行うことで競争力のある商品に仕上げ、展示会・商談会に出展、販路開拓に繋げることができた。</td></tr>
<tr><td>(4)スーパーマーケット・トレードショー出展事業
スーパーマーケット・トレードショーへの出展を通じ、鳥取県内の食品関連企業の県外へのＰＲ、販路拡大を支援する。</td><td>【実績】
出展期間：2/14～16　　出展事業者：14 社
<table><tr><th>項目</th><th>件数※</th></tr><tr><td>商談件数</td><td>320 件</td></tr><tr><td>商談成立件数</td><td>73 件</td></tr></table>【成果】
〇バイヤーに対して訴求力のある商品が多く展示され、前年比で倍増以上の成約件数となった（H28 年度の成約件数は 33 件）。</td></tr>
<tr><td>(5)６次産業化総合支援事業(県補助事業)
農林漁業としての一次産業に加え、二次産業としての製造業、三次産業としてのサービスや販売業等を総合的かつ一体的に展開することで、農林水産物の付加価値向上、農林漁業者の所得向上、農山漁村における雇用の増大などにつなげることにより、地域経済の活性化の取組みを推進する。</td><td>【実績】
<table><tr><th>項目</th><th>件数</th></tr><tr><td>新規6次産業化法認定事業者</td><td>0社</td></tr><tr><td>プランナー等の派遣を通じた個別相談</td><td>166 件</td></tr><tr><td>簡易な相談対応、助言の提供</td><td>106 件</td></tr><tr><td>６次化法認定事業者に対するフォローアップ</td><td>1 件</td></tr><tr><td>個別相談会</td><td>3 回</td></tr></table>【成果】
〇新規6次産業化法認定事業者は0件であったものの、今後、法認定取得に意欲的な事業者を4件発掘できた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Ｄ　特許等を活用して新たな技術の導入を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">1　特許技術の活用及び流通の支援</td></tr>
<tr><td>(1)知財総合支援窓口運営業務事業
知的財産を活用した事業の事業化による収益の向上を図るため、企業等の企画段階から事業化まで包括的な支援を行う。</td><td>【実績】
〇知財活用事業化案件等の状況（知財を活用した企画から販売までの一貫支援）
<table><tr><th>支援企業件数</th><th>会社名</th></tr><tr><td>１１件</td><td>㈱フジタ、㈱ＬＡＳＳＩＣ、㈱ケイケイ、㈲サンパック、エンドウ商事㈱、ジーアイシー㈱、ブリリアントアソシエイツ㈱、ケイズ㈱、日本マイクロシステム㈱、㈱若葉テック、SUNIN製炭工業㈱</td></tr></table>〇知財ビジネスマッチング開催
7/14　富士通、日産自動車、NHKエンジニアリングシステム、富士ゼロックス、IPB 参加

【成果】
・エンドウ商事：リハビリ用ショッピングカートを大手販社に納入開始
・ジーアイシー：見守りシステム「Mittell」H30年3月より量産開始
・日本マイクロシステム：ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸﾌｧｽﾅｰ定数供給装置「オービットフィーダー」の販売開始
・若葉テック：日産自動車とライセンス契約締結し、商品開発開始</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td>(2)特許流通支援事業
県内企業等の特許導入による研究開発投資・リスクの低減、新商品開発の促進、また、自社特許を他社へ流通させることによる収益の向上を促進するため、特許流通の普及啓発・ライセンス等のマッチング等を実施する。</td><td>【実績】
○特許流通ＣＤの支援状況（新商品化、新事業化に繋がる知財マッチング）
<table>
<tr><th>支援項目</th><th>件数等</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>企業訪問件数</td><td>４９２件</td><td>うち 新規１２８件</td></tr>
<tr><td>成約件数</td><td>４１件</td><td></td></tr>
</table>
○成約件数２８件の内訳
<table>
<tr><th>区分</th><th>件数</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>特許実施許諾</td><td>１４件</td><td></td></tr>
<tr><td>共同開発･共同出願</td><td>４件</td><td></td></tr>
<tr><td>秘密保持契約・覚書</td><td>２３件</td><td></td></tr>
</table>
○９/１５　「産から学へのプレゼンテーション」開催　県内企業４社参加
（県外参加： 岡山大学、岡山理科大学、岡山県立大学、広島大学、神戸大学）
【成果】
○成約件数は、本年度目標３０件に対し、４１件(136.7%)で目標を達成。</td></tr>
<tr><td>(3)知的財産活用ビジネス支援事業
中小企業の知財活用支援の県中核機関として知財の課題等を一元的に受け入れる「知財総合支援窓口」を設置し、ワンストップサービスを提供する。（一般社団法人鳥取県発明協会とのコンソーシアム）。</td><td>【実績】
○支援状況
特許、商標、意匠の出願手続き支援、類似案件調査、事業モデル構築、知財契約関連、ブランド構築等の支援等
<table>
<tr><th>項　目</th><th>目　標</th><th>実　績</th><th>達成率</th></tr>
<tr><td>相談支援件数</td><td>８００件</td><td>１１４５件</td><td>１４３．１%</td></tr>
<tr><td>専門家活用件数</td><td>１２５件</td><td>２６０件</td><td>２０８．０%</td></tr>
<tr><td>発掘活動</td><td>６０件</td><td>１０６件</td><td>１７９．７%</td></tr>
</table>
（やや満足以上）　上期１００%　　下期１００%

【成果】
○鳥取県内に常設の窓口を本部、西部支部の２ヶ所、および臨時窓口を６ヶ所設置し、知的財産に関する相談・支援を行うと共に、相談者の拡大や県内における各関係支援機関との連携促進等を実施し、相談支援件数、専門家活用件数共に目標を達成。</td></tr>
<tr><td>(4)特許流通フェア事業
県内企業が保有する特許技術の県外への売り込みを促進するため、実施許諾先となり得る企業が多い大都市圏において開催される展示会に出展する。</td><td>【実績】
○２０１７ＮＥＷ環境展　４社出展
大協組、鳥取再資源化研究所、日本マイクロシステム、アサヒメッキ</td></tr>
<tr><td>(5)中小企業外国出願支援事業
県内中小企業者等が行う海外への戦略的な特許出願等に対する支援（補助）を行う。</td><td>【実績】
○県補助金　PCT特許出願　　５件採択（１件不採択）
ﾏﾄﾞﾌﾟﾛ商標出願　１件採択
○国補助金　特許　　５件採択
商標　　１件採択</td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等
Ⅲ　高度産業人材等の育成の支援	
～　県内産業の高度化に資する人材の育成・確保を支援する。	
１　県内産業の人材育成のためのセミナー等の実施	
(1)産業人材育成支援情報発信事業 県内企業の人材育成支援を効果的に実施するため、県内企業へ情報提供を行うウェブサイト（とっとり step）の運営管理を行う。	【実績】 ○「とっとりｓｔｅｐ」の運営状況

項目	全体	うち鳥取県内
サイトアクセス件数	7,233 件	3,288 件
ｓｔｅｐ登録件数	126 件	126 件

【成果】
○サイトの認知度は高まっているが、登録件数・アクセス件数とも減少傾向にあった。

２　高度専門的な人材育成のためのセミナーの開催

(1)ものづくりカイゼン塾開催事業
ものづくり企業の競争力強化や新分野等への参入を行うために、生産管理の重要性、提案力・プレゼンテーションの向上、商品企画・開発、新分野参入を目指したセミナーを開催する。

【実績】
○セミナー等開催状況

実施日	名称	講師・講演内容	参加者数
7/11	IOTものづくり活用セミナー	第１部講師：(株)レクサー・リサーチ代表取締役 中村昌弘 氏 演題:「IoT の世界動向と新しいモノづくりの在り方」 第２部講師：関ものづくり研究所 代表　関　伸一　氏 演題：「地方のものづくり、鳥取のものづくりの目指すもの」 第３部講師：(株) 東芝生産技術センター研究主幹 古賀 康隆 氏 演題：「地方中小企業の IoT 活用実践のご紹介」	８６名
7/21	５Ｓセミナー	講師:きむら5S実践舎 代表　木村 温彦 氏 演題:「5Sの街･足利から学ぶ～ 中小企業は5Sで根底から変われる～」	８９名
11/24 ～25	IOT導入実践セミナー	講師：ＩＶＩ講師８名 内容：グループワークによる議論を行い成果発表会の実施・講評を行った。	１７名
12/20	トップセミナー	講師：博報堂ブランドデザイン若者研究所リーダー原田曜平氏 演題「現代若者の心をつかめ！ 」さとり世代のライフスタイル大解剖	９４名
2/5	マネジメントセミナー	講師：（株）ＢＥＡＮＳ 代表取締役 遠藤 彰　氏 演題：「社員のやる気を引き出すフィードバック」	１８名
2/23	第1回人事労務セミナー （鳥取会場）	講師：（株）ブレイン・サプライ 中小企業診断士 小出 貴巳氏 演題：会社を伸ばす！中小企業の組織づくりと部下育成	３７名
3/22	第2回人事労務セミナー （鳥取会場）	講師：（株）ブレイン・サプライ　代表取締役　岡 弘己 氏 演題：多発する労使トラブルに備えて～争わない人事・辞めさせない労務の秘策～	３３名
3/23	第2回人事労務セミナー （米子会場）	講師：（株）ブレイン・サプライ　代表取締役　岡 弘己 氏 演題：多発する労使トラブルに備えて～争わない人事・辞めさせない労務の秘策～	３３名

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td></td><td>【成果】
○本年度は、ＩＯＴ関連セミナーも実施したが、何れのセミナーも参加者から「満足」の割合が高い結果となった。</td></tr>
<tr><td>(2) 中小企業情報化促進事業
「中小企業に対する情報化支援活動の強化」を推進することで、県内企業が情報化について模索する課題の解決を図る。</td><td>【実績】
○セミナー等開催状況
<table>
<tr><th>実施日</th><th>名称</th><th>講師・講演内容</th><th>参加者数</th></tr>
<tr><td>1/12</td><td>「IoT実践セミナー鳥取版」フォローアップ研修</td><td>講師：IVI ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ４名
ものづくり ITｻﾎﾟｰﾀｰ４名
内容：IoT 実践セミナーでの現場改善手法習得を踏まえ、各社における個別具体の課題解決のための個別指導・研修を実施。</td><td>９名</td></tr>
<tr><td>2/26</td><td>IoT導入実証報告会</td><td>内容：IoT 実践セミナー参加企業各社の実証実験の取り組み発表の場として開催。
基調講演講師：関ものづくり研究所 代表　関　伸一　氏
演題：「AI と IoT で私たちの工場はどう変わるか」</td><td>９０名</td></tr>
</table>
【成果】
○本事業により、具体的なIoT導入に向けて実証実験の取り組みを進める企業が複数社現れ、県内製造業において、より身近なIoT導入を検討する契機となる取り組みとなった。</td></tr>
<tr><td>(3) ＩＳＯ内部監査員養成セミナー
県内企業のＩＳＯ認証取得に必要となる人材を育成するため、ＩＳＯ（9001、14001）内部監査員の養成セミナーを実施する。
※政策目標　受講者　１００名</td><td>【実績】
○実施状況
<table>
<tr><th>開催日</th><th>開催場所</th><th>セミナー名</th><th>受講者数</th></tr>
<tr><td>10/11-13</td><td>東部地区</td><td>IS09001 内部監査員養成セミナー</td><td>28 名</td></tr>
<tr><td>11/24-26</td><td>中部地区</td><td>IS09001 内部監査員養成セミナー</td><td>28 名</td></tr>
<tr><td>11/15-17</td><td>東部地区</td><td>IS014001 内部監査員養成セミナー</td><td>28 名</td></tr>
<tr><td>11/28-30</td><td>中部地区</td><td>IS014001 内部監査員養成セミナー</td><td>20 名</td></tr>
</table>
【成果】
○県外の養成セミナーは参加費が高額で宿泊旅費も発生しすることから、機構が安価で開催するISO内部監査員養成セミナー開催の要望は強い。更に本年度は規格改正に対応したセミナーとなっており、受講者からの参加希望が多かった。</td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等

Ⅳ　産学金官の連携促進の支援

～　研究開発の中核機関として、県内産業における新技術の開発や新分野への進出を支援する。

1　染色体工学研究拠点の形成

(1) とっとりバイオフロンティア管理運営事業

鳥取県より指定管理者の指定（平成２６年度～３０年度）を受け、とっとりバイオフロンティア施設の居室・機器の企業・大学への貸し出しを行うほか、施設内の清掃・機器管理等の業務を行う。
また、施設利用者への機器操作の支援、研究開発・事業化に関する相談を行うほか、とっとりバイオフロンティア内にバイオ人材育成ＣＤを配置し、バイオに係る専門人材育成のための研修プログラムを実施する。

【実績】

○施設の利活用

・実験室等施設入居状況

区分	設置数	利用数	備考
居室	４室	４室	間借り１室、一部共用を含み７社入居
実験室	４室	４室	
動物飼育室	４室	４室	（4月～12月は１室空室あり）
オープンラボ	１室	１室	鳥取大学染色体工学研究センター

・２階機器利用状況（鳥大５階機器含む）

区分	利用回数	備考
４～３月	３４，１８４回	前年同期比１％増　前年33,673回

○バイオ人材育成講座開催　25講座492名参加（前年同期29講座656名）

○利用促進・入居企業支援活動

・㈱PACT　鳥大発ベンチャー企業新事務所開設（4/1）
・入居者の施設利用利便性向上のため意見交換会を実施（4/28）
・企業訪問等 50社、視察対応　24社
・新しいﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄと動画を作成
・論文掲載報告　5件
・展示会等出展

日程	展示会	場所	出展者数
4/19-21	BioPh Japan2017	東京	2社
10/11-13	Bio Japan 2017	横浜	3社
2/21-23	メディカルジャパン2018	大阪	3社

【成果】

・新しいﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄと動画を作成したことで、入居企業PRがｽﾑｰｽﾞに出来るようになった。
・論文掲載報告をしてもらうようになったことで、当施設での研究成果が目に見えてわかるようになった。
・5F動物飼育室は月平均576ケージで前年度に引き続き順調な利用状況であった。
・5F動物飼育室を鳥大に返還した。
・ﾃｸﾉﾌﾟﾛが動物実験を開始したため、年度末には満室となった。
・化学物質管理規則を新たに制定し、館内での保護具の徹底を促し、だいぶ浸透した。
・人材育成セミナーでは、バイオテクニシャン養成講座の受講者4名が実験動物技術者2級の資格を取得した。重点的に開催した染色体工学技術活用講座では、受講者と講師との密な議論が共同研究開始の契機となった。バイオビジネス実践講座を通じて、ベンチャー企業における資本政策について理解が深まった。

(2) とっとりバイオフロンティア基金事業

基金を設置し、施設整備等を行い、利用者へのサービス向上と施設機能の充実を図ることで、共同研究の推進や研究開発の強化を支援する。

【実績】

○平成29度　8,120千円造成。

○ＣＯ2インキュベーター、染色体解析専用顕微鏡解析専用 PC、共焦点顕微鏡（解析ｿﾌﾄ/PC）、実体蛍光顕微鏡等の設置

○鶴岡視察（7/24-25）　参加21名（地域経済界、鳥取大学、行政(県、米子市)事務局）
講演(宮田講師)、鶴岡市説明、入居バイオベンチャー事業概要説明、当方紹介セミナー等

【成果】

○備品の設置により、利用者の利便性、研究環境が充実した。

○鶴岡訪問により、地方都市(米子市と同等の人口規模)で最も成功している鶴岡メタボロームキャンパスとのコネクションを確立するとともに、同バイオクラスターの成功要因(行政の積極的で息の長い支援、日本一・世界一の成功事例の創出、次世代バイオベンチャー人材吸引のしかけ、地元経済界の支援等)について共有

事業名・内容	事業の実績等
(3)地域イノベーション戦略支援プログラム 文部科学省の補助事業（５年間）として、平成２５年８月から事業実施する。 全体の事業のうち「知のネットワークの構築」について実施（「研究者の集積」、「人材育成」及び「設備の共有化」は鳥取大学が実施）	【実績】 ・地位イノベの成果報告会を米子コンベンションセンターにて開催（3/28）。鳥取シーズを活かした地域事業を広く知ってもらうために一般向けにも広報活動を行い、県内のみならず県外からも多数の来場者が訪れた（約130人）。 ・現地ヒアリングにおいては、開催準備にとどまらず、企業ポスター展示や創薬実証センターの紹介などのＰＲ活動を実施。 ・特許出願数4件、査読論文数11件、参画企業数23社。 ・大型展示会（BioPhJapan, BioJapan, MedicalJapan）に出展し、入居企業の事業化推進を図るともに、新規技術や市場動向調査などの情報収集活動を実施。 ・前年度にグローバルコーディネーター支援地域に採択され、その利用を入居企業に紹介し、GPC研究所が制度を活用。 ・入居企業の知財戦略をサポートし、特許出願を支援。 ・支援により採択された入居企業のきのこ事業において、県外企業との新たなネットワークが構築された。 【成果】 ・文科省より地域イノベ戦略支援プログラムの評価「A」を受けた。これまでの５年間の評価結果の総合評価が非常に優れているという内容。特に２年前の中間評価では「B」であったが、その後２年間の活動が高く評価され。最終の評価が「A」となり、全国の地域イノベ実施地域の中では２番目に高い評価である。 ○【総合評価：A】 (項目別) ・地域イノベプロブラムの進捗 目標達成-A、事業化-A ・事業推進体制 プロジェクトディレクター及び総合調整機関-A、補助事業者の構成-A、予算配分や研究テーマの検討-A ・イノベーションエコシステムの形成・高度化 環境意識の変化-A、マーケティング・成果発信の状況-A、波及効果・資金獲得状況-A ・各支援メニュー 地域イノベ戦略の中核を担う研究者の集積-A、 人材育成プログラムの開発及び実施-B、 大学等の知のネットワークの構築-A、 研究設備・機器等の共用化-A ○本事業期間（５年）の主な成果 ・新ベンチャーの設立：２社（TC社&PACT社）、県外からの進出企業：２社 ・入居企業２社から６社へ ・TC社が複数の大手製薬企業と共同で事業を開始 ・創薬産業のないゼロベースの状況から50人以上の地元雇用が生まれた。 ・鳥取県と鳥取大学が共同提案した実証拠点整備事業を支援し、採択され(H28.12月)、バイオフロンティアの隣に新たな拠点「とっとり創薬実証センター」が完成した(3月) ・大型展示会やＨＰ等のＰＲ活動の効果により、県外企業からの引き合いが増え、入居企業の事業が活発化した。 ・産学官（鳥取大学、TC社、GPC研究所、機構）の共同事業のきのこプロジェクトの成果が増え、新たな枠組みで事業を継続する合意がなされ、入居企業のテクノプロが参画予定。

事業名・内容	事業の実績等
２　ものづくり分野における新たな基盤技術の開発等	
(1)戦略的基盤技術高度化支援事業 川下企業ニーズに基づき、ものづくり中小企業を核として技術開発、新商品開発を行う提案事業。国の定めた１２技術分野（鋳造、鍛造、切削加工、めっき等）の向上につながる研究開発からその試作までの取組を支援する。（中国経済産業省補助の３年度間事業）。	【実績】 ○新規採択案件 ・申請支援１件　採択１件 ○進捗状況 （新規案件） ・テーマ：自動車用クリアランスソナーケースなどのアルミニウム合金複雑形状品の高効率生産を実現する革新的精密インパクト成形技術の開発 構成企業：田中製作所（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾘｰﾀﾞｰ）、鳥取県産業技術C、産業技術総合研究所 進捗状況：本件にて効率的な量産体制を整え、自動車部品製造への展開を計る。今年度は試作完成品としての製品目標値をクリアし、当初目標を達成して事業を終了。 （継続案件　※H29年度が最終年度） ・テーマ①：ステンレス製小物精密部品の低コスト量産を実現する高度に温度管理された温間鍛造加工プロセスの実用化開発 構成企業：㈱寺方工作所(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾘｰﾀﾞｰ)、鳥取県産業技術C 進捗状況：本年度が最終年度。当初目標を達成して事業を完了。経産省の評価も高く、事業化計画も有望。 ・テーマ②：アーク放電感知技術による直流スマート開閉器の研究開発 構成企業：旭東電気㈱(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾘｰﾀﾞｰ)、米子工業高等専門学校、鳥取県産業技術C 進捗状況：本年度が最終年度。当初目標を達成して事業を完了。経産省の評価も高く、事業化計画も有望。 【成果】 新規案件の掘り起しに向けて、昨年度に研究開発資金獲得支援セミナーを開催した結果、参加企業のうち１社が申請、採択を受けることができた。また、事業管理機関として、各案件とも適切に経理処理方法等を指導し、経産局へ報告することができた。
(2) 鳥取県産学共同事業化プロジェクト支援事業 産学官連携による新産業創出を促進するため、県内中小企業者と県内大学等の研究機関が共同プロジェクトとして実施する事業化を目指した研究開発への取組を支援する。	【実績】 ○新規採択案件 ・申請支援３件　採択１件　※採択枠１件に対し ○進捗状況 （新規案件） ・テーマ：新たな市場を開拓する色鮮やかな新ジャンル日本酒の開発 ・構成企業：鳥取県産業技術C、ﾌﾞﾘﾘｱﾝﾄｱｿｼｴｲﾂ(株)、千代むすび酒造(株)、(株)nido、(株)BBStoneデザイン心理学研究所 ・事業概要：今までの日本酒の概念にとらわれず、年代・性別・国籍ごとに好まれる日本酒を心理学的に分析し、商品化戦略も含めて科学的な根拠に基づいた色鮮やかな日本酒を設計、開発する。2/9に関係者による推進会議を開催。 （継続案件　※H29年度が最終年度） ・テーマ：超氷温ジェルアイスを用いた冷凍水産物の高品質解凍流通技術の開発 ・構成企業：㈱氷温研究所、米子高専、ヤマト運輸㈱、ことぶき流通システム㈱、関西大学 ・進捗状況：本件により、新たな高品質解凍流通技術の開発に成功。実際の流通現場に導入・実証試験の結果、事業者より高い評価を得られ、今後の事業化計画も有望。 【成果】 確実に事業の進捗管理を実施したことで、スケジュールどおり事業が遂行できている。

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td colspan="2">Ⅴ　管理運営体制の確立</td></tr>
<tr><td colspan="2">～　公益財団法人の適正な管理・運営に資するよう、組織体制の整備等を図る。</td></tr>
<tr><td>(1)事業の継続性の確保
組織体制を強化し、プロパー職員を中心とした運営体制への移行を図るため、当財団が実施すべき核となる事業を「基幹事業」として位置付け、事業継続性を確保するとともに、その実施に必要な組織及び人員の定数化を図る。
※政策目標
　企業支援の技術・ノウハウ定着
　キャリアアップシステム確立</td><td>○支援体制の構築
　基幹事業を実施するため、プロパー職員のほか各事業のマネージャー、コーディネーター及びスタッフ等の人員を配置

○企業情報管理システムの導入
　県内企業等の情報を共有し、各種支援に活用するため企業管理システムを導入（運用は30年度からスタート）</td></tr>
<tr><td>(2)企業調査・企業アンケートの実施
全ての賛助会員企業を調査し、ニーズを的確に把握するとともに、企業アンケートを実施し、施策の立案、事業の実施に活かす。
※政策目標
　会員企業の工場見学会の開催</td><td>○企業調査・企業アンケートの実施
　＊賛助会員アンケートの結果(概要)
<table>
<tr><th rowspan="2">会員数</th><th rowspan="2">回答数</th><th rowspan="2">利用あり</th><th rowspan="2">利用割合</th><th colspan="2">満足度</th></tr>
<tr><th>大変満足
・満足</th><th>不満・
大変不満</th></tr>
<tr><td>５８０</td><td>４３２</td><td>２５６</td><td>５９．４％</td><td>９８．０％</td><td>２．０％</td></tr>
</table>
○賛助会員企業見学会の実施
第１回（県内）H29.8.8　①リコーインダストリアルソリューションズ㈱
　②大宝工業㈱ 関西カンパニー鳥取工場
第２回（県内）H29.11.1　①寿製菓㈱
　②㈱海産物のきむらや
第３回（県外）H30.2.7　①共和機械㈱　（岡山県津山市）
　②仲精機㈱ 岡山工場　（岡山県美作市）</td></tr>
<tr><td>(3)施設管理事業
当財団の施設を入居室として企業に貸し出すとともに、入居企業等利用者の安全な利用環境の保全を図る。</td><td>○入居状況
　・入居率　54.5%（H30.3.31現在）
○修繕等の状況
　機構本部施設の屋根等の大規模修繕の実施（３年計画のうち２年目）</td></tr>
<tr><td>(4)情報発信
当財団の事業等を広く周知するため、電子媒体により情報を発信する。</td><td>
<table>
<tr><th>区　　分</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>ホームページによる情報</td><td>○各種商談会、展示会、セミナー、補助金制度等の案内</td></tr>
<tr><td>メールマガジン</td><td>○定期刊行物の発行・配信</td></tr>
<tr><td>アトリウム商品展示</td><td>○機構本部アトリウムにおける商品紹介展示
㈱徳永組（㈱MASUDA）、松田安鐵工所、㈱鳥取スター電機、㈱田中製作所、若桜観光㈱、㈱ゼンヤクノー、㈱ヒカリ工業、㈱ゴール、高石工業㈱
㈱ヘイセイ、㈱マリンナノファイバー、㈱伯耆のきのこ、モルタルマジック㈱、㈱日星クリエイト、協同電子㈱</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>